

青少年育成センターだより

第30号 平成29年11月



「私たちがみんなで、小さな礼儀作法に気をつけたなら、この人生はもっと暮らしやすくなる」 (チャールズ スペンサー チャップリン)

“小さな礼儀作法”は“おもいやり”と言い換えてもいいでしょう。「相手に対する少しだけの思いやりで人生が暮らしやすく潤いのあるものになる」とチャップリンが言っているのです。いかがですか？とっても良い言葉ですね。チャップリンの映画をもう一度見たくなりました。

はきものをそろえること

みなさんの家では、玄関のはきものの状態はいかがでしょう？

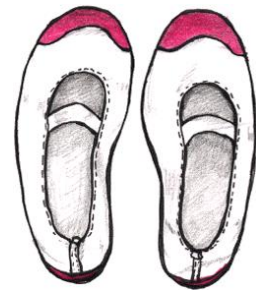
ここで、「はきものをそろえること」の大切さについて考えてみましょう。

はきものを そろえると 心もそろう
心がそろうと はきものもそろう

ぬぐときに そろえておくと
はくときに 心がみだれない

だれかが みだしておいたら
だまって そろえておいてあげよう

そうすればきっと
世界中の 人の心も そろうでしょう



藤本幸邦

「我が家は、いつもきちんとそろっているよ」という家庭、「そういえば我が家は、いつもバラバラだな」と反省される家庭等様々でしょう。はきものがそろっているかそうでないかという、ほんの小さなことなのかもしれませんが、このことがいつもきちんとできていることで、考え方や生活の仕方が変わってくるのではないのでしょうか。

乱れているはきものがあったら、そっとそろえてみられませんか。そんな小さな行動が世の中を明るくしていくのだと思います。

“下足箱にきちんと靴がそろっている”“トイレのスリッパがそろっている”、そのような学校の子どもたちは、掃除をまじめにし、勉強や運動を意欲的にする子どもたちが多かったように思います。

家庭では、家に上がる時にははきものを外向きにそろえるように、小さい時からしつけましょう。このことは、子どもの未来を変えていくことにつながります。「たかがはきもの、されどはきもの」なのです。子どもができていなければお父さん、お母さんがそっとそろえてやってください。少し時間がかかるかもしれませんが、子どもがはきものをきちんとそろえる習慣がつくようになります。

一年間と決めて、はきものをそろえることを家庭で取り組まれたらどうでしょう。きっと一年後、家庭の雰囲気が変わっていると思いますよ。